

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

<要点>

- 変異株の急激な広がりを考慮すると、直ちに感染拡大をくい止め、その後のリバウンドを防ぐためにも、人流、特に繁華街の夜間滞留人口を徹底的に抑制する必要がある。
- 直近の都内主要繁華街における夜間滞留人口は、1度目の緊急事態宣言時に比べると約3倍の高い水準で推移。今後、現状の水準で人流が推移すると、GW中には感染者数がさらに増加し続ける可能性。
- 大阪府では人流が減少に転じてすでに4週間経過するも、未だ感染収束の見通しが不透明。医療逼迫が深刻化。東京においてもさらに感染が拡大すると、収束までには相当な時間を要する可能性がある。GW期間中に集中的に人流を抑制する必要がある。

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年4月27日）

繁華街
滞留
人口
(人)

Go To Eat予約/
Travel東京対象
開始(10/1)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言
(1/8)

6府県解除
(2/28)

都解除
(3/21)

3府県
重点
措置
(4/5)

3都府県
重点
措置
(4/12)

4県
重点
措置
(4/20)

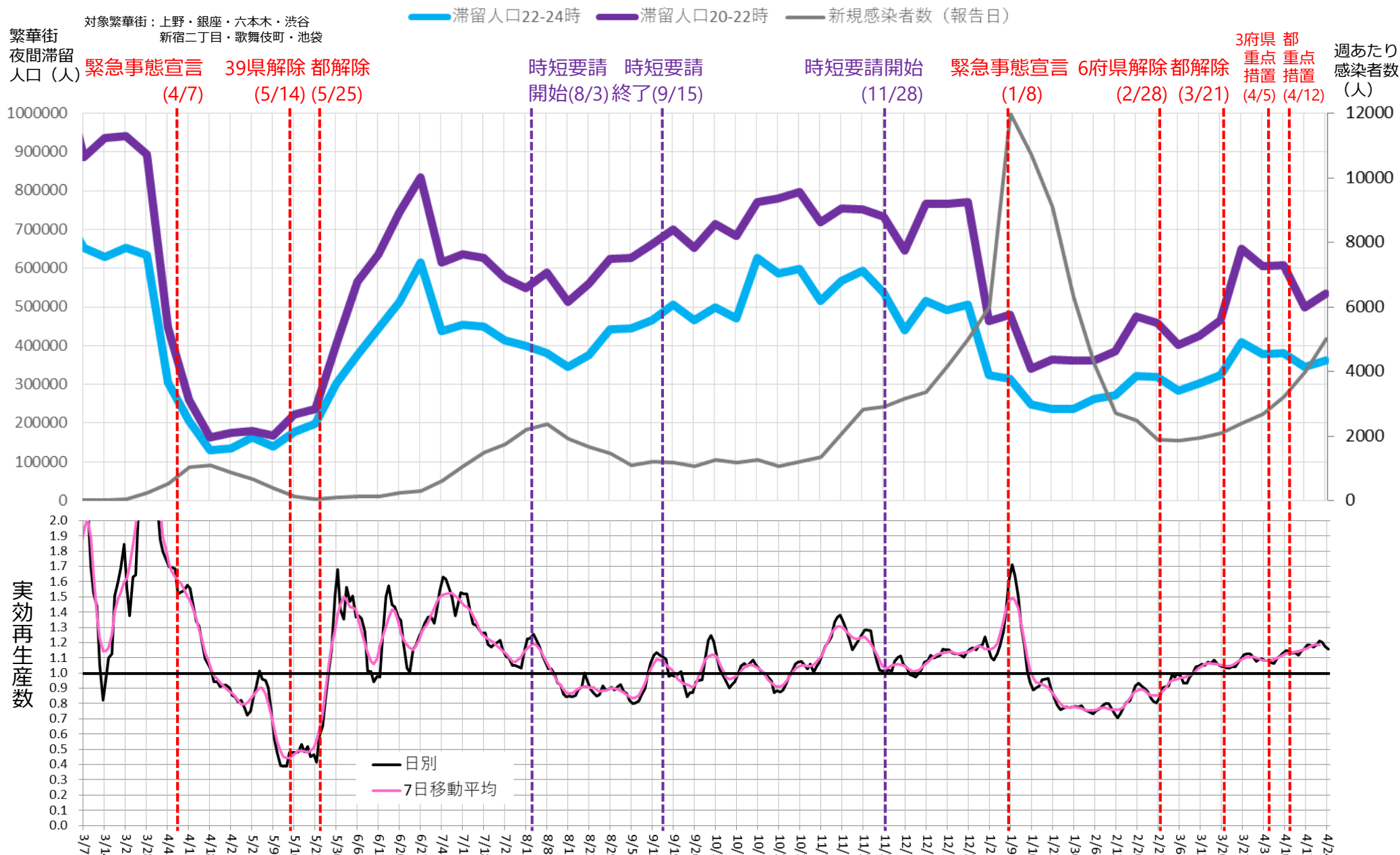
緊急事態宣言
(4/25)

滞留人口

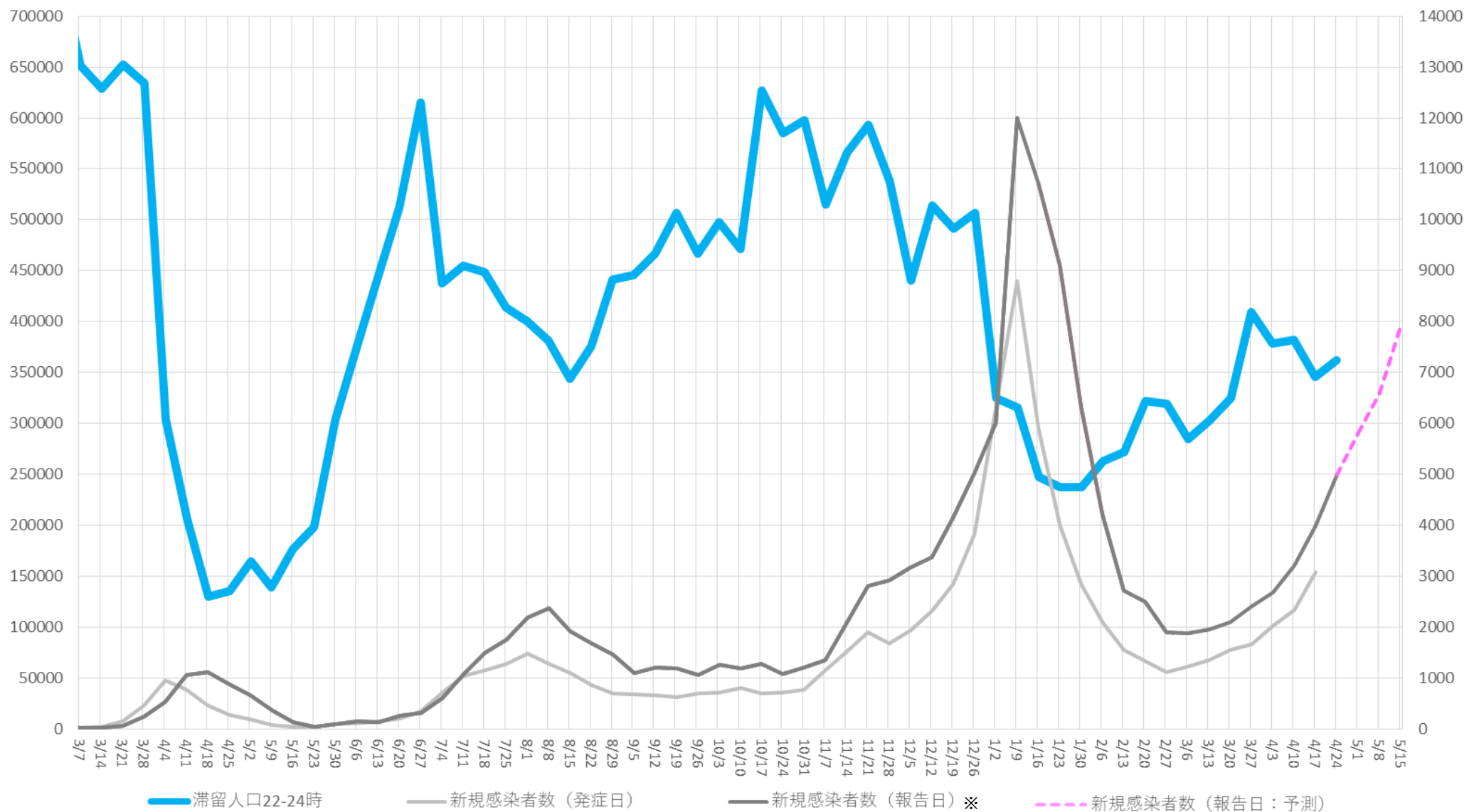
滞留人口

滞留人口(12~14) 滞留人口(14~16) 滞留人口(16~18) 滞留人口(18~20) 滞留人口(20~22) 滞留人口(22~24)

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年4月24日)



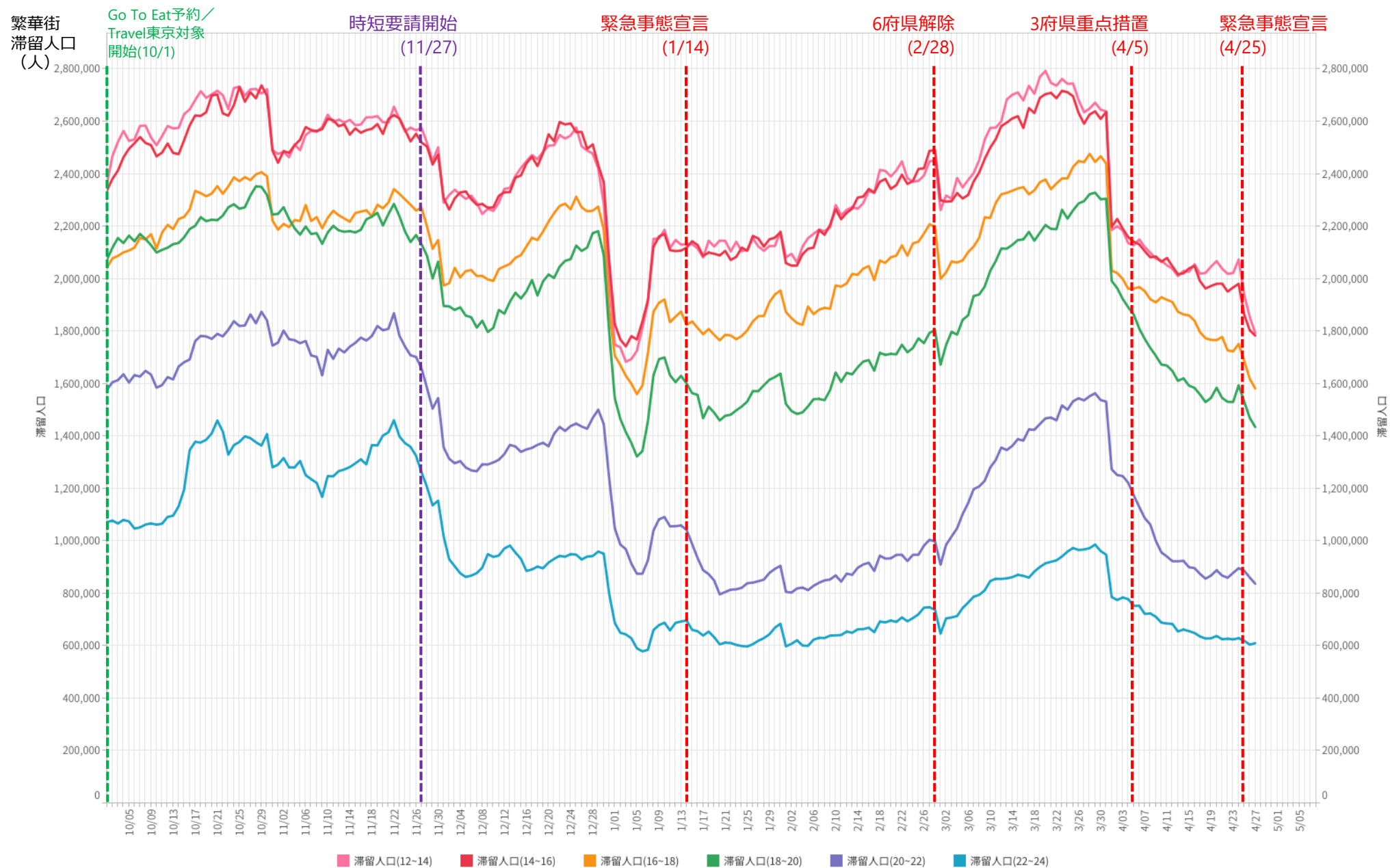
繁華街夜間滞留人口データを活用した感染者数予測：東京



先週（21.4.18-24）の夜間滞留人口と 緊急事態宣言中の最低値時点との比較

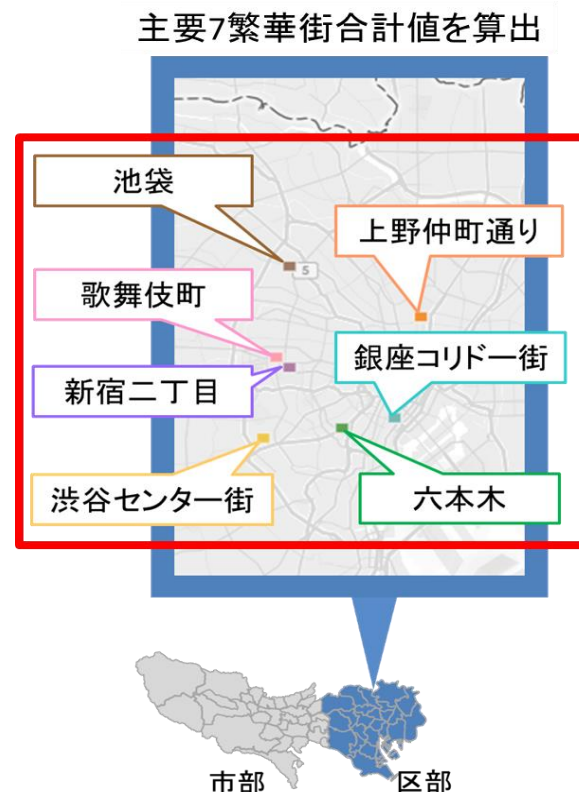
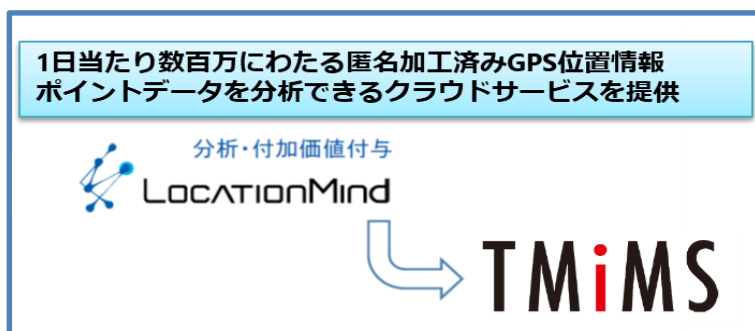
		1回目の緊急事態宣言	2回目の緊急事態宣言
東京	最低時点 (週単位)	20.4.12-18	20-22時 : 21.1.10-16 22-24時 : 21.1.24-30
	20-22時	3.29倍	1.57倍
	22-24時	2.80倍	1.53倍
大阪	最低時点 (週単位)	20.5.3-9	21.1.17-23
	20-22時	1.92倍	1.09倍
	22-24時	1.67倍	1.04倍

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：大阪（2020年10月1日～2021年4月27日）



ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定** ※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント